

コロナ禍の中でも 第4回歴史講演会盛大に

コロナ感染症の拡大が心配された中、11月15日「松井田城そして小田原合戦」と題して、県文化財保護課の飯森康広先生による第4回松井田城歴史講演会が230名の参加で、盛大に開かれました。参加者には事前に往復はがきで申し込んでいただき、総座席の半数での実施でしたが、参加者からのアンケートは133名から寄せられ「有力・強力な大軍をもってして、陣城まで造って、慎重に攻めたことは、いかに松井田城が堅固な城だったかわかった」「資料も多く、分かりやすい話でたいへん良かった」との感想がありました。



コロナ対策は万全に

なお、講演会を開催するうえで会館や保健所から「コロナ感染症対策」について指導があり、まず検温、手の消毒、密にならない誘導をすること。会場は一つおきに使用し、終了後はアルコール消毒、参加者がどこに座ったかを確実に把握しておくこと、などなど厳しい作業が義務付けられました。



中山道ウォークで 松井田城址に100名が

上毛新聞社と安中市が共催している信越本線の廃線跡とアプトの道を歩く「旧中山道ウォーキング事業」が、今年はコロナ禍のために「特別編」として「松井田城址見学コース」を企画してくれ、保存会として松井田城址の説明ガイドなどに全面協力させていただきました。

11月3日、松井田支所駐車場に集まった方は98名、保存会からは、20名ほどが案内や、資料配布などでお手伝いさせていただきました。



ガイドの説明を共有するために、関係者とともに事前に城址で下見を行いました

アクリル案内板を作成し、 各所に設置しました

手作りの案内板が、古くなり読みづらくなったため新たにアクリル板で一回り以上大きな案内板を発注し、支柱にはアルミのポールと、工務店の会員さんからいただいたアルミサッシのアルミを使い、主要な場所にそれぞれ建てることができました。松井田城址を歩いた人から「案内板がきれいで、とてもわかりやすかった」と好評です。

さらに追加して案内板は増やしていく予定です。



「御城印」を作ります！



最近、全国の寺や神社で「朱印帳」を携えて、それぞれの寺社で発行している「御朱印」を採集している人達が増えているそうですが、城で発行する「御城印」なるものも登場しているのだそうです。全国の城が発行している「御城印」を紹介しているガイドブックも発行されているほどで、人気があるとのこと。そこで址保存会では、この山城ブームといわれる機会にぜひ、作りましょうと意見がまとまり、現在図案を考え、スタンプには大道寺家の家紋である「アゲハチョウ」と、旗頭である「大」の字をあしらったものを作成し、「御城印」として、松井田城址を訪れた方々にお分けすることにしました。大きさは一般の御朱印と同じ、はがき大で、300円ほどで販売し、保存会の財政に寄与したいと考えています。

虚空蔵菩薩祭典に多くの参拝者

毎年、松井田城址本丸跡で開かれている「虚空蔵菩薩」の祭典が、今年も1月13日、高梨子の「玉泉山無量寺」檀家の皆さんの主催で開かれ、例年になく大勢の参拝客でにぎわいました。

檀家の皆さんが、今年が丑年に当たることから町内に案内チラシを新聞折込したために、たくさんの方から問い合わせがあったそうです。

参拝客の中には、83歳という方もあり「生まれが丑年なので昔は毎年登ってきた、久しぶりに来てみたが、ずいぶんきれいになったね」と喜んでおられたそうです。写真右・お堂の中

今年の（第3回）現地説明会は中止になりました

保存会が発足して以来、2回現地説明会を実施してきましたが、昨年の第3回目は直前になって「コロナ感染症拡大」のために中止させていただきました。第3回の説明会を今年こそと、3月に企画してきましたが、昨年末からのコロナ感染の広がりが拡大し、国の緊急事態宣言も発出されるなどの事態を踏まえ、やむなく今年も「中止」とせざるを得ないと決めました。会員の皆様、お知り合いの皆様にお伝えいただければ幸いです。

あなたも草刈りボランティアに

2月7日、3月14日の草刈り作業

令和3年度は、保存会が発足して5年目を迎えます。この間、会員は120人ほどに増え、定期的に下草刈りや灌木の整理、倒木などの処理などに協力いただいています。おかげさまで、城を訪問された方々から「見通しが良くなって、とても気持ちが良い」「案内板も整備され、けもの対策のカンカラなども用意されていてありがたい」などの評価をたくさんいただいています。今年も計画的な草刈りを予定しています。道具のない方はこちらで用意していますのでぜひご参加ください。とりあえず、**2月7日、3月14日**に予定しますが、参加される方は「保険」をかけるために、事前に事務局までお知らせください。（高梨子駐車場に朝9:00集合）

